

故河角龍典教授 略歴 主要著書・論文目録

学 歴

- 一九七一（昭和四六）年四月二八日、三重県津市で生まれる
一九九〇（平成二）年三月 三重県立津西高等学校 卒業
一九九四（平成六）年三月 立命館大学文学部地理学科地理学専攻 卒業
一九九四（平成六）年四月 立命館大学大学院文学研究科博士課程前期課程地理学専攻 入学
一九九六（平成八）年三月 同右 修了
一九九九（平成一一）年四月 立命館大学大学院文学研究科博士課程後期課程地理学専攻 入学
二〇〇三（平成一五）年三月 同右 修了

職 歴

- 一九九六年四月～一九九九年三月（財）大阪府文化財調査研究センター 非常勤専門調査員
一九九九年四月～二〇〇二年三月 立命館大学文学部 助手
二〇〇三年四月～二〇〇五年三月 立命館大学COE推進機構 講師
二〇〇五年四月～二〇〇九年三月 立命館大学文学部 人文総合科学インスティテュート総合プログラム 講師
二〇〇九年四月～二〇一二年三月 立命館大学文学部 人文総合科学インスティテュート京都学プログラム 准教授
二〇一二年四月～二〇一四年三月 立命館大学文学部 地域研究学域京都学専攻 准教授
二〇一四年四月～二〇一五年四月 立命館大学文学部 地域研究学域京都学専攻 教授

学位

博士(文学、立命館大学) 二〇〇三(平成一五)年三月 取得

学位論文

「宮都地域における古代の地形環境と土地利用の特性に関する研究―藤原京・平城京・平安京を事例として―」

受賞歴

二〇〇八年六月 第二回日本文化財科学会ポスター賞
二〇〇九年七月 第二回日本文化財科学会奨励論文賞

専門分野

環境考古学、歴史地理学、自然地理学、地理情報システム

委員歴

二〇〇三年一月～二〇〇四年一月 人文地理学会 選挙管理委員
二〇〇四年一月～二〇〇六年一月 人文地理学会 企画委員
二〇〇五年 四月～二〇〇七年 三月 条里制・古代都市研究会 庶務委員
二〇〇五年二月～二〇〇七年一月 立命館地理学会 会計委員
二〇〇六年 四月～二〇〇八年 三月 国立歴史民俗博物館 展示プロジェクト委員
二〇〇七年 四月～二〇〇九年 三月 条里制・古代都市研究会 編集委員
二〇〇七年二月～二〇〇八年一月 立命館地理学会 編集委員

二〇〇八年 六月～二〇一四年 六月 日本文化財科学会 幹事
二〇〇九年十一月～二〇一一年一月 人文地理学会 集会委員

主要な業績

【書籍】

Settlement Patterns and Environment of Heijō-kyō, an Ancient Capital City Site in Japan. In: Batten. B. and Brown. P., eds. *Environment and Society in the Japanese Islands: From Prehistory to the Present*. Corvallis: Oregon State University Press. 2015. pp.43-57

「GISを用いた平城京の古地形の定量的復原と市街地の立地分析」HGIS研究協議会(編)『歴史GISの地平—景観・環境・地域構造の復原に向けて』、勉誠出版、二〇一二年、二〇九—二一九頁

野間晴雄・香川貴志・土平博・河角龍典・小原文明編著『ジオ・パルNEO—地理学・地域調査便利帖』、海青社、二〇一二年

「相模国と寒川神社周辺の地形環境と景観」鎌田東二編『日本の聖地文化—寒川神社と相模国の古社』、創元社、二〇一二年、一四一—一八一頁

「3次元都市モデルを用いた古代都市の景観分析—バーチャル長岡京・平安京で見る都市の中軸線と山並みの関係—」矢野桂司・中谷友樹・河角龍典・田中覚(編)『京都の歴史GIS』(シリーズ日本文化デジタル・ヒューマニティーズ03)、ナカニシヤ出版、二〇一一年、五七—七八、二四九—二六二頁

「三次元デジタル地図で見る古代都市—長岡京・平安京の風景—」立命館大学文学部京都文化講座委員会編『立命館大学京都文化講座「京都に学ぶ」—六京の地宝と考古学』、白川書院、二〇一一年、二六—四三頁

「バーチャル長岡京・平安京3Dマップ」国立歴史民俗博物館(編)『桓武と激動の長岡京時代』、山川出版社、二〇〇九年、四二—五〇頁
「盆地の微地形と景観変遷」・「鴨川の水害史」、植村善博・香川貴志編『京都地図絵巻』、古今書院、二〇〇七年

「空中写真による京町家の変遷」・「平安時代のバーチャル京都」、矢野桂司・中谷友樹・磯田弦(編)『バーチャル京都』、ナカニシヤ出版、二〇〇七年
「中世京都の地形環境変化」(吉越昭久・原澤亮太と共著)、高橋康夫(編)『中世都市研究12 中世のなかの「京都」』、新人物往来社、二〇〇六年、一五一—一七九頁

【論文】

「都市史研究とジオアーケオロジ—古代日本における都市開発と微地形—」シンポジウム「都市と大地」シリーズ『都市史の基層として大地・地

- 面・土地を考える』、日本都市史学会建築歴史・意匠委員会、都市史小委員会、二〇一四年、五一―一頁
- 「京都盆地東部、白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡における遺構面下の地質」(小野映介と共著)『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告二〇一四―一延勝寺跡・岡崎遺跡』、二〇一四年、三二―三三頁
- 「京都盆地東部に位置する白河街区跡、法勝寺跡、岡崎遺跡の地質」(小野映介と共著)、『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告二〇一四―六 白河街区跡・法勝寺跡・岡崎遺跡』、二〇一四年、二六―二七頁
- 「コザ・ビジネスセンターの都市計画と地形景観の復原」『立命館大学人文科学研究所紀要』一〇四、二〇一四年、三二―三三頁
- 「六波羅政庁・六波羅蜜寺の発掘調査で検出された始良 Tn (AT) 火山灰分析」(小野映介と共著)、『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告二〇一三―〇九 六波羅蜜寺境内・六波羅政庁』、二〇一四年、五三―五五頁
- 「伊勢平野中部臨海部における縄文時代以降の遺跡立地―津波のリスクと居住場所との関係―」『歴史都市防災研究』二、二〇一三年、二七―三三頁
- 「伊勢平野中部における沖積層の堆積過程」(小野映介と共著)、『新潟大学災害・復興科学研究所年報』一、二〇一二年、八一―八二頁
- 「洪水災害の環境考古学―遺跡の表層地質情報から読み解く河川水害史―」『日本史研究』五九七、二〇一二年、三一―九頁
- 「津波被害およびその復旧・復興過程に関する災害考古学的研究―伊勢平野中部における完新世後半の海岸低地の形成過程に関する調査報告―」『歴史都市防災研究』一、二〇一二年、四一―四四頁
- 「米軍統治下の沖繩における都市計画(2) 越来村「ビジネスセンター」の地形景観の復原」(加藤政洋と共著)『人文地理学会大会 研究発表要旨』二〇一二年、一四四―一四五頁
- 「米軍統治下の沖繩における都市計画(1) 越来村「ビジネスセンター」構想の表と裏」(加藤政洋と共著)『人文地理学会大会 研究発表要旨』二〇一二年、一四二―一四三頁
- Virtual Kyoto project: digital diorama of the past, present, and future of the historical city of Kyoto. Nakaya, T., Yano, K., Isoda, Y., Kawasumi, T. Takase, Y., Kirimura, T., Tsukamoto, A., Matsumoto, A., Seto, T. and Iizuka, T. In: Ishida, T. ed. (*Culture and Computing: Lecture Notes on Computer Science*), Springer. 2010. pp.173-187
- GIS-Based Landscape Visualization and Visibility Analysis of the Mountain View in Heian-Kyo, a Capital City of Ancient Japan. (2ND International Conference of Digital Archives and Digital Humanities.) 2010. pp.501-512
- Virtual Kyoto as 4D-GIS. Keiji Yano, Tomoki Nakaya, Yuzuru Isoda and Tatsunori Kawasumi. (*Virtual Geographic Environments*.) 2009. pp.71-88
- 「平安京右京三条三坊三町の発掘調査から見た最終氷期以降の紙屋川(天神川)扇状地の地形発達史」(小野映介と共著)『京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告二〇〇九―四 平安京右京三条三坊三町跡』、二〇〇九年、六三―六六頁
- 「環境史から見た平城京―奈良時代以降の地形環境変遷と古代都市の環境利用―」『奈良女子大学21世紀COEプログラム報告集』二八、二〇〇九年、

- 「平安京の環境史」『環境技術』三八（二）、二〇〇九年、八二—八八頁
- 「バーチャル京都…時空間を取り入れた4次元GIS」（矢野桂司・中谷友樹・磯田弦らと共著）『地學雜誌』一一七（二）、二〇〇八年、四六四—四七八頁
- 「平安京の地形環境と災害」『立命館大学・神奈川大学21世紀COEプログラムジョイントワークショップ報告書』『歴史災害と都市—京都・東京を中心に—』、二〇〇七年
- 「バーチャル長岡京3Dマップ」の構築と博物館展示への活用」（橋本隆憲、山中章、高瀬裕、矢野桂司と共著）『じんもんこん二〇〇七論文集』二〇〇七、二〇〇七年、二二—三〇頁
- 「バーチャル長岡京3Dマップ」『長岡京遷都—桓武と激動の時代—』、国立歴史民俗博物館、二〇〇七年
- 「宮都研究とGIS」（塚本章宏・磯田弦・佐古愛己・高瀬裕・矢野桂司と共著）『条里制・古代都市研究』二二、二〇〇六年、一一—一八頁
- 「佐保川流域平野における先史時代の地形変化—平城京左京五条二坊十五・十六坪の調査より—」『平城京左京五条二坊十五・十六坪』（橿原考古学研究所調査報告九八）、奈良県立橿原考古学研究所、二〇〇六年
- 「歴史都市京都のバーチャル時・空間の構築」（矢野桂司・磯田弦・中谷友樹らと共著）『E-journal GEO』「1」、二〇〇六年、二二—二九頁
- 「WebGIS技術を用いた歴史的都市景観のデジタル・アーカイブ」（河原大・矢野桂司・中谷友樹らと共著）『じんもんこん二〇〇五論文集』二〇〇五、二〇〇五年、一七九—一八六頁
- 「古記録データベースと歴史的空間情報のGIS化」（佐古愛己・前田亮・杉橋隆夫と共著）『じんもんこん二〇〇四論文集』二〇〇四、二〇〇四年、九—一六頁
- 「4D-GISによるバーチャル・シティーの構築…歴史都市京都のバーチャル時・空間」（矢野桂司・磯田弦らと共著）『じんもんこん二〇〇四論文集』二〇〇四、二〇〇四年、一七—二四頁
- 「昭和・平成期の京町家バーチャル時・空間—京町家時・空間データベース及びVR技術を用いた京町家の減少過程の復原—」（矢野桂司・磯田弦・河原大・河原典史と共著）『民俗建築』一二六、二〇〇四年、六五—七一頁
- 「発掘調査から得られる地質情報を用いた洪水氾濫区域の想定—京都鴨川流域の事例—」『地理情報システム学会講演論文集』一三、二〇〇四年、一六七—一七〇頁
- 「歴史時代における京都の洪水と氾濫原の地形変化—遺跡に記録された災害情報を用いた水害史の再構築—」『京都歴史災害研究』一、二〇〇四年、一三—二三頁
- 「京町家のバーチャル時・空間…大正以降の変遷」（河原大・矢野桂司・中谷友樹らと共著）『日本地理学会発表要旨集』六五、二〇〇四年

- 「京都鴨川の水害史と平安時代以降の地形変化」『日本地理学会発表要旨集』六五、二〇〇四年
- 「地理情報システムを用いた平安京の景観復原」『人文地理学会大会 研究発表要旨』二〇〇四、二〇〇四年
- 「平城京の土地利用規定要因と地形環境」『人文地理学会大会 研究発表要旨』二〇〇三、二〇〇三年
- 「京都バーチャル時・空間の構築…四条通り界限を中心に」(矢野桂司・高瀬裕・磯田弦ほかと共著)『じんもんこん二〇〇三論文集』二〇〇三、二〇〇三年、一〇三―一〇頁
- 「平安京内部の土地利用と微地形の関係」『日本地理学会発表要旨集』六四、二〇〇三年
- 「空中写真を利用した京町家時・空間データベースの構築」(矢野桂司・河原大・井上學・岩切賢と共著)『じんもんこん二〇〇三論文集』二〇〇三、二〇〇三年、一一―一八頁
- 「長野盆地東縁、保科川扇状地に立地する宮崎遺跡の堆積環境変遷」(小野映介と共著)『立命館大学考古学論集』三一―一、二〇〇三年、三一五―三二二頁
- 「飛鳥・藤原地域」における弥生時代中期以降の地形環境変遷と土地開発」『人文地理』五三(五)、二〇〇一年、四七七―四九三頁
- 「平安京における地形環境変化と都市的土地利用の変遷」『考古学と自然科学』四二、二〇〇一年、三五―五四頁
- 「湖南省城頭山遺跡における地形環境の変貌と土地利用変化」(高橋学と共著)『日本地理学会発表要旨集』六〇、二〇〇一年
- 「沖積層に記録される歴史時代の洪水跡と人間活動―大阪府河内平野池島・福万寺遺跡の事例―」『歴史地理学』四二(二)、二〇〇〇年、一一―一五頁
- 「池島・福万寺遺跡およびその周辺地域の地形(河内平野の形成と遺跡形成過程)」(財)大阪府文化財調査研究センター研究調査報告』二、大阪府文化財調査研究センター、一九九九年、一九三―一九六頁

【講演】

- 「三次元デジタル地図で見る平安京の三山と街づくり」京都伝統文化の森推進協議会文化的価値発信事業 第一〇回公開セミナー「観光都市京都・三山の魅力を探る」、二〇一四年六月一八日、京都大学稲盛財団記念館
- 「GISでみる平安京のまちづくり」GIS Day in 関西二〇一四、二〇一四年一〇月二五日、立命館大学衣笠キャンパス